

くじびきドロ잉は、 海に行きます。

海の近くに暮らす子どもとおとなが

くじを引いて絵を描きます。

少し前のことと、今と、少し先のことを想像します。

子どもとおとなの境界線がなくなって、

くじに委ねたちよつとした未来に共感し合います。

海の人は青い海を見ながら山の緑に思いを馳せ、

山の人の未来へくじのことばと絵で繋げます。



描いた作品は
10/17(水)まで
御前崎市立図書館で
展示します

子どもと地域をつなぐくじびきドロ잉

海のくじびきドロ잉 9.30(日) 10:00~16:00

御前崎市立図書館 参加無料・小学生以上対象・募集人数 100名 ※直接会場へお越しください。

あめのひのおさんぽ、キモかわいい生物、しゃべるハンバーガー...

くじにはこんな言葉が書かれています。ひいたくじの言葉を絵にします。

そして次は言葉のくじをつくります。さっきひいたくじは誰かが残した言葉なのです。

「くじびきドロ잉」は、コミュニケーションをテーマとした、美術家 乾久子さんのアートワークです。

2008年から各地で開催されています。今回は、乾さんと御前崎市へ出掛け実施します。くじびきドロ잉 検索

主催:子どもアートスタジオプロジェクト 協力:御前崎市立図書館

助成:国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金 問い合わせ:090-6646-7338(青木)

会場:御前崎市立図書館(御前崎市池新田5560)

